特集

MJ無線と実験 90年のあゆみ

特集 MJ無線と実験90年のあゆみ

34 表紙の変遷に見る無線と実験90年

38 私とMJ 柴崎 功

39 MJから受けたオーディオの刺激 小林 貢

40 MJ無線と実験 創刊90周年を祝う 佐伯多門

41 MJと私のオーディオルーム研究 石井伸一郎

42 オーディオは科学の戦い 安井 章

43 アンプバトル 金田明彦

44 町の本屋とMJと 落合 萠

45 所感MJ 佐久間駿

46 趣味は広く，そして浅く 松並希活

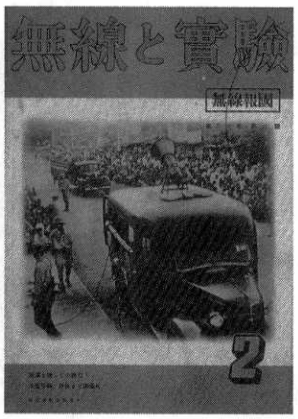
47 MJ誌と私 佐藤 進

48 真空管アンプからコラムまで，MJとともに19年 柳沢正史

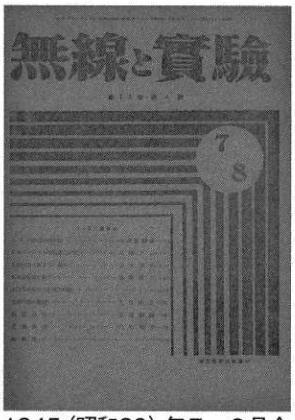
特集　MJ無線と実験90年のあゆみ

表紙の変遷に見る無線と実験90年

1928（昭和3）年4月号．大電力放送記念特集号．JOAKの10kW化によって，これからのラジオ放送がどうなっているか論じられている．製作記事はトリオラ・スーパー3球レフレックスラジオの作り方（古澤恭一郎）など



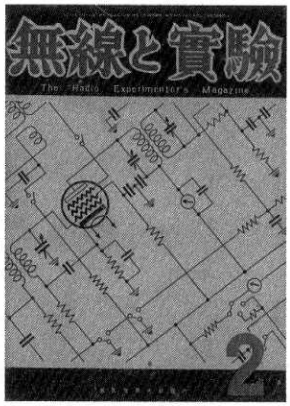
1943（昭和18）年2月号．表紙には「無線報国」の文字が入る．まだ造本はしっかりとしているが，編集後記には「新聞・雑誌・単行本用紙配給の大幅減配」のため，やむなく本号より減ページとある．総ページ数96ページ



1945（昭和20）年7，8月合併号．7月1日発行となっているが，編集後記では終戦が語られている．さらに原爆を引き合いに出しながら，復興に向けた科学技術振興の決意が述べられる．実際の発売は年末であったようだ．全16ページで，製本もされていない

1944（昭和19）年10月号．さらに紙質も印刷も粗くなっているが，巻頭の写真ページは印刷精度が高い．「電波兵器の戦争だ．真空管の戦いだ」というコピーとともに，女学校内で女子学生により真空管が製造される様子がレポートされている

1944（昭和19）年3月号．だんだん紙質が粗くなってきており，表紙は無線機を操作する少年通信兵．「無線報国」の文字とともに「撃ちてし止まむ」のスローガンが掲げられている．連載記事として「広帯域増幅器の設計」など



1946（昭和21）年2月号．表紙は2色刷りとなったが，戦後の物資難により，印刷，造本とも戦中のまま．裏表紙の広告では，「罹災された同業者の方々へ」として，神田須田町のラジオ部品業者がメッセージを送っている

時代設定	1870	1880	1890	1900	1910
	前史				
出来事	1871　廃藩置県 1873　太陽暦導入		1890　帝国議会開院 1894　日清戦争	1905　特殊相対性理論発表（アインシュタイン） 1904　日露戦争	1912　タイタニック号遭難 1914　第1次世界大戦勃発
オーディオ		1877　円筒録音機の発明（エジソン） 1881　バイノーラル伝送実験（仏） 1887　円盤式録音機（ベルリナー）	1898	鋼線録音機発明 1904　両面録音レコード盤登場 1904　2極真空管の発明（フレミング） 1906　3極真空管の発明（ド・フォレスト）	
電気・放送・映画	1875　電話の発明（ベル）	1880　白熱電球特許取得（エジソン）	1891　キネトスコープの発明（エジソン） 1894　シネマトグラフ初上映 1895　無線電信機の発明（マルコーニ）	1900　無線による音声通信（フェッセンデン） 1902　大西洋横断無線通信（マルコーニ）	1914　再生方式の発明（アームストロング） 1917　スーパーヘテロダイン方式の発明（アームストロング）

特集　MJ無線と実験90年のあゆみ

表紙の変遷に見る無線と実験90年

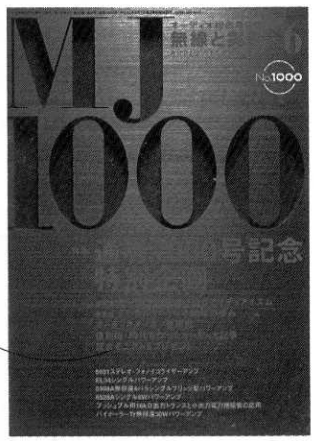
1975（昭和50）年７月号．表紙には安井章氏製作の半導体アンプ．V-FETアンプ特集で金田明彦氏，落合萠氏，安井章氏による製作記事．座談会ではV-FETに否定的な成田俊一氏という謎の人物が不毛の主張を展開．真空管パワーアンプ製作記事は３種収録

1976（昭和51）年６月号．華々しく登場したエルカセット規格３社の試作デッキが表紙．オーディオケーブルと配線材の材質と構造について，試聴と測定で相関を探った．製作記事は半導体2種のみ

1999年７月号．創刊75周年イヤー．出力50W以上の真空管アンプ製作記事４本を収録．日本のオーディオメーカー発展史，柴崎功によるSACDとDVD-A関連記事などを収録

1994年５月号．創刊70周年記念号．「21世紀に続くオーディオ技術」と題した，ラジオ，真空管，デジタルオーディオに関する寄稿４本，自作記事９本を収録．アナログプレーヤー製作記事，ウッドホーンのテストレポートは今となっては貴重

1983（昭和58）年６月号．小林貢氏による２インチホーンとドライバーの組み合わせテスト，アナログプレーヤー４種，真空管プリアンプ２種，ミクシングコンソール４種の測定と試聴などを収録



2006年６月号．通巻1000号記念．佐伯多門氏，長真弓氏，中田薫氏による座談会，柴崎功氏「デジタルオーディオ30年の歩み」連載開始，オーディオメーカー発展史，復刻記事で通巻1000を号を盛り立てた

1990	2000	2010
	新世代	
1991　湾岸戦争 1995　阪神淡路大震災 1995　地下鉄サリン事件 1997　消費税5% 1998　長野オリンピック	2004　フェイスブック 2006　ツイッター 2006　6月『MJ無線と実験』通巻1000号 2007　郵政民営化	2010　はやぶさ帰還 2011　東日本大震災 2012　ips細胞
1991　MD発売 1991　ProTools発売 1992　DCC発売 1995　DVD発売 1999　DVDオーディオ 1999　SACD	2001　iPod発売 2002　PCオーディオ 2003　音楽配信サービス 2007　Netオーディオ	2010　BDオーディオ
1992　ドルビーデジタル登場 1996　CS放送開始 1996　DTS方式	2000　BSデジタル放送開始 2003　地上デジタル放送開始 2006　ワンセグ放送開始 2007　スマートフォン登場	